

国際交流基金助成事業報告書

大阪薬科大学 薬学部 2 年 藏地康輝

◆ はじめに

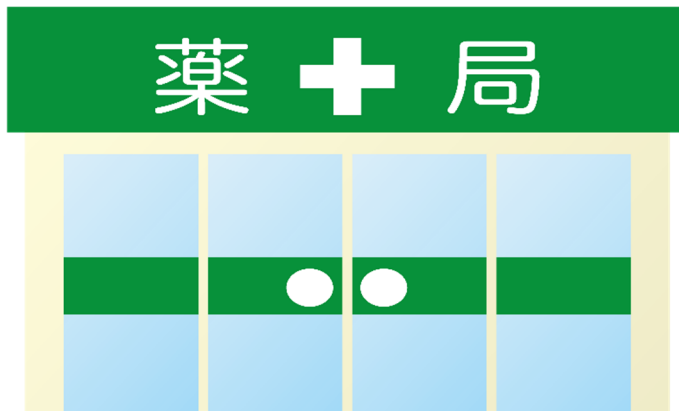
この度私は国際交流基金助成事業の援助を受けて、カナダのバンクーバーを訪問しました。8 日間の短期留学でしたが、語学学校にて医療単語を習得し、非常に密度の濃い留学生活を送れたと実感しております。留学に伴いホームステイも経験し、自分にとって初めての体験ばかりで毎日が刺激的でした。この報告書では、私がカナダで学んだ医療事情や日本との違い、またカナダで体験した様々な出来事について詳しく報告させていただきます。



1. カナダの薬局見学で学んだこと

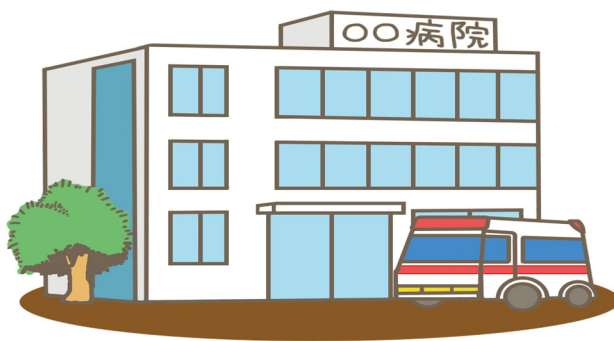
カナダの薬局見学では、以下のことを学びました。

- カナダのオスキーは難しく、質の高い医療知識を兼ね備えた薬剤師が薬局を仕切っている。
- 処方箋の拒否権があるため、クレーマーに対するストレスがない。
- 患者の人種が多種多様なため、痛みの感じ方が国民性により違うことを認識していないと、誤った処方をしてしまう。
- 麻薬の管理が日本よりも厳重。
- 調剤と雑用はアシスタントとテクニシャンの仕事で薬剤師はドクターや患者の質問に対応することに特化している。
- 確かな知識を兼ね備え、かつクレーマーに論破できる対応と簡単に頭を下げない精神を持った薬剤師がカナダではうまくやっけていける。



2. カナダの病院見学で学んだこと

- 大体初診の費用は6万から7万円が相場であるが、場所によっては13万円もする場合がある。
- カルテはここ2年ほどで電子カルテに移行し始め、医師だけでなく看護師も付けた市が行えるようになった。
- 日本の病院には医師、看護師、医療事務の3つで構成されているが、カナダは看護師を抜いた2つで構成されているのが主流である。
- 医療は日々進歩しているため、新しい知識の勉強を怠らない点は日本と同じであり、医療機器の進歩も目覚ましいため正しい扱い方も覚えなければならない。
- 基本、人体に入れるものにはナンバーがつけられ、豊胸のシリコンや脊椎治療のための人口脊椎にもナンバーがついている。それらが人体に悪影響を及ぼした際、作成社を特定することができるためである。

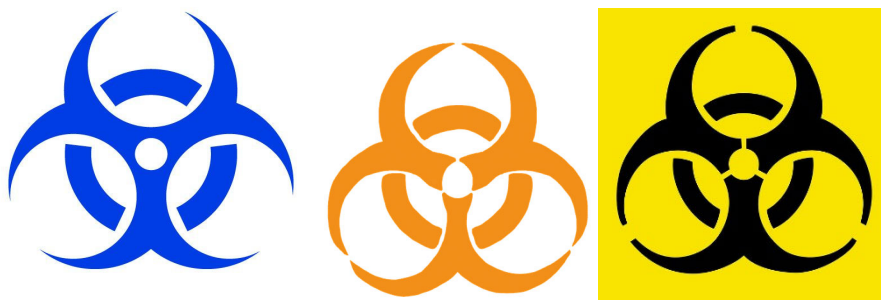


3. カナダの薬物、血液検査を行う病院で学んだこと

- 病院の近くに検査を行うラボが設置されている。
- ハザードマークにはさまざまな色が存在するが、色に特に深い意味はなくどれも危険

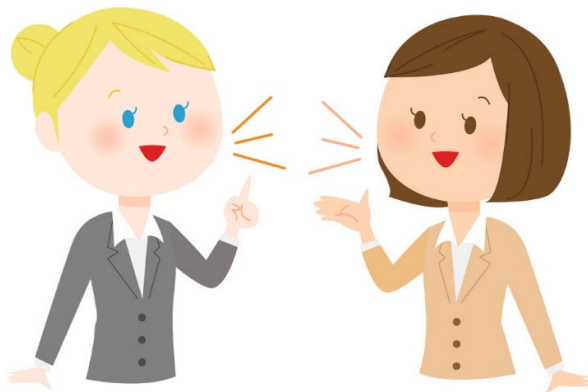
を示すマークである。

- ドラッグ使用の疑いがある患者には特設されたトイレで検査を行い、そのトイレには監視カメラもついている。
- 血液検査だけでなく、検便も遠心分離機を使い、どちらも上澄みを検査の対象とする。
- 結果は2から7日ほどかかる。



◆ ホームステイについて

ホームステイでは、アジア系のホストファミリーに受け入れてもらいました。あまり時間に厳格でなく良い意味で放任主義だったため、カナダを満喫することができました。はじめはネイティブ英語を話す外国の人と構えていましたが、日数が経つごとに日常会話が成り立ち、軽く冗談を言えるくらいに英会話が上達しました。



◆ 最後に

今回の留学で日本を飛び立ってから日本に帰り無事報告書を書くことができるまでに、多くの方々の協力を得ました。この場を借りて感謝の意を表させていただきます。今後の日本の医療を担う私にとって、今回の留学は大変有意義なものでした。